

釣りゲーム マニュアル



KALZA

本商材を使用する前に必ずお守り下さい

■本商品は水を多く使います。

水（水道設備）が用意できる場所が必須です。
片付けの際は水を捨てなければなりませんので
排水できる場所が必要です。

■本商品は単4電池を魚1匹あたり2本使用します。
泳がせる魚の数だけ電池が別途必要になります。

■砂利・石・ガラス片や砂など鋭利な物が
落ちている地面にはプールが使用できません。
プールは何も落ちてない綺麗な芝生や
平面コンクリートの上のみ使用できます。
使用する際は、必ずプールの下にアルミシートと
ビニールシートを敷いて下さい。
屋内で使用する場合は付属のビニールシートを
プールの下に敷いて床が濡れない様に保護して下さい。

■危険ですので絶対にプールの中に人が
入らない様にご注意下さい。

■プールの組立



まずはプールを組立ましょう。
組みあがると、左の写真のようになります。

(1) 枠の骨組みを組み立てます



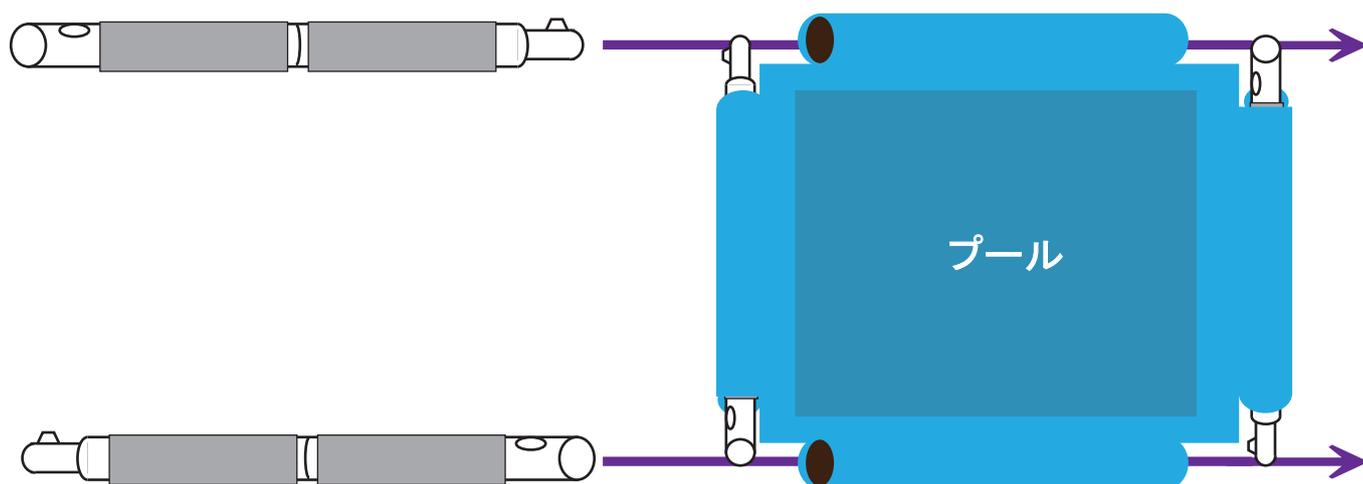
図のように枠の骨組みを組立ます。

突起がもう一方の穴に差し込めるようにします。

灰色の発泡素材はプールと枠の滑りを防ぐ為のもので
必ず画像のような定位置にある状態にしてください。

(2本は始めからプールに通してありますので、2本作ります)

(2) プールに枠を差し込みます



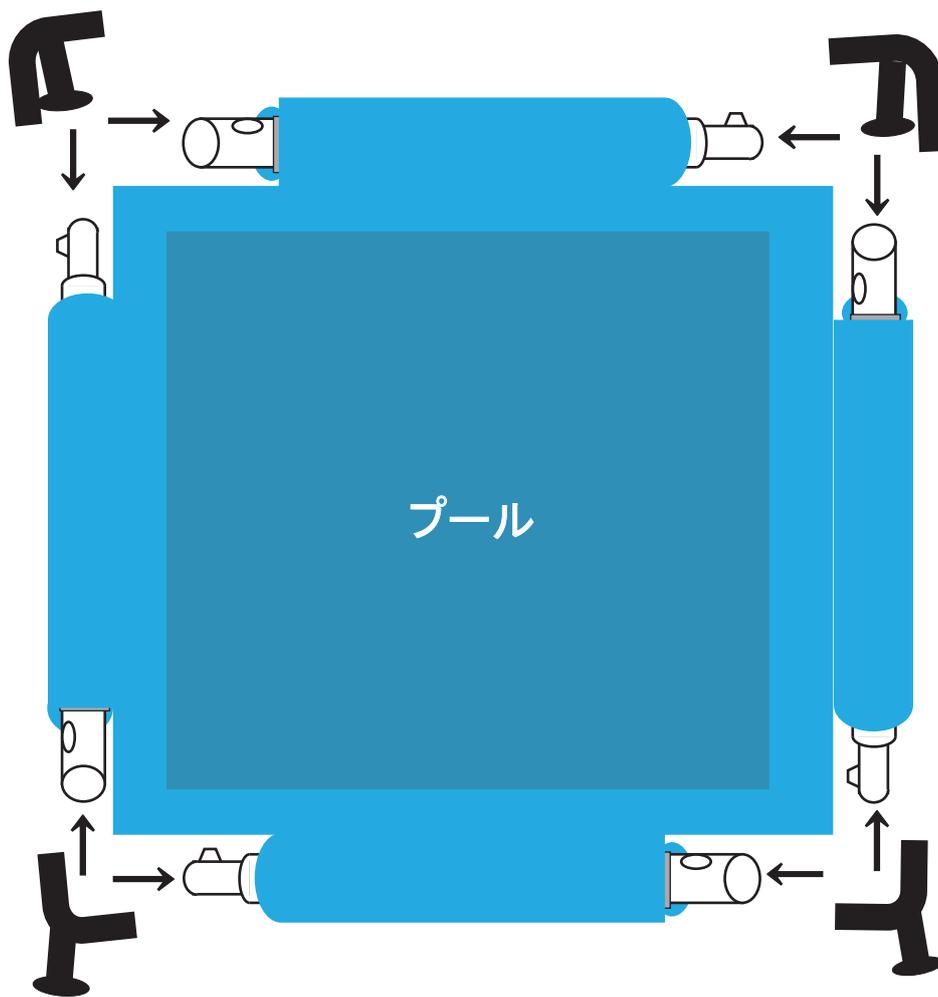
図のように枠の骨組みをプールのサイドに通します。

突起の向きにご注意下さい。

色の発泡素材はプールと枠の滑りを防ぐ為のもので
必ず画像のような定位置にある状態にしてください。

(2本は始めからプールに通してありますので、2本通します)

(3) 足に差し込みます



図のように枠の骨組み4箇所に足を合体させます。

(足は4本あります)

少し硬いので、力まかせに差し込まず、ゆっくり少しずつ入れるようにして下さい。



完成イメージ

準備編

(4) シートを敷き、その上にプールを載せます。



プールを設営する場所の地面を平らになるように落ちているものを掃くなどして除去しておきます。

1番下に付属のビニールシートを敷き、その上に付属のアルミシートを敷きます。(必ず敷いて下さい)

砂利や砂、石やガラス片が落ちているような地面には絶対に使用しないで下さい。どうしても難しい場合は、地面にベニヤ板など硬くて厚みがある平らなものを地面に敷いて均した上からビニールシートとアルミシートを敷いてプールを設営して下さい。

(※ベニヤ板は付属されていません)

(5) 魚に電池を入れます



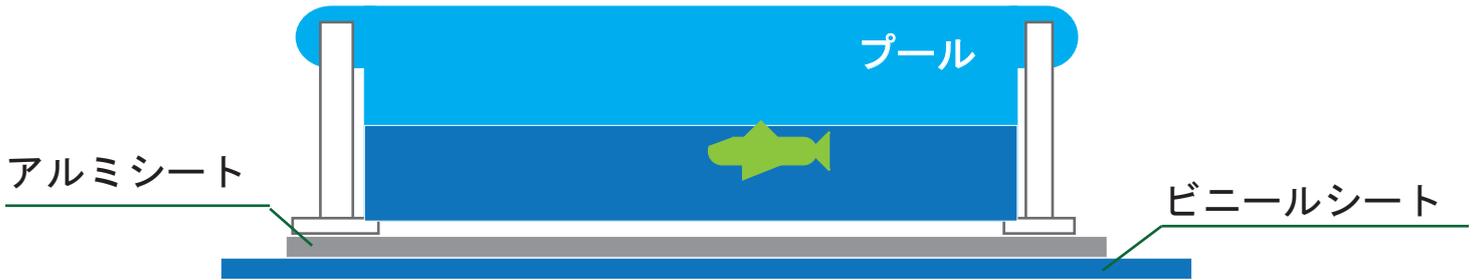
プラスドライバーでネジを開けてフタを取り、単4電池を入れます。

(向きを間違えないようにご注意ください)

電池を入れたらフタをしてネジを閉めます。(ヒレの向きのご注意下さい)

画像の赤丸で囲っているようにフタと魚の間に隙間が1mmくらいになるように少しキツク閉めて下さい。(閉め方がゆるいと水が浸水してしまいます)

(5) プールに水を張ります



魚を1匹浮かべながら水を張ります。

図のように魚が完全に水から浮いた状態になるまで水を張って下さい。

(6) 付属の藻を入れます (ここの項目は任意です)



付属の藻を4本投入します。
(これは雰囲気を出すだけです
邪魔な場合は入れなくても良いです)

(7) 魚を必要な匹数だけ入れて泳がせます



魚を投入していきましょう。付属のプールでの魚の許容量は最大10匹です。



電源を入れて泳がせましょう。

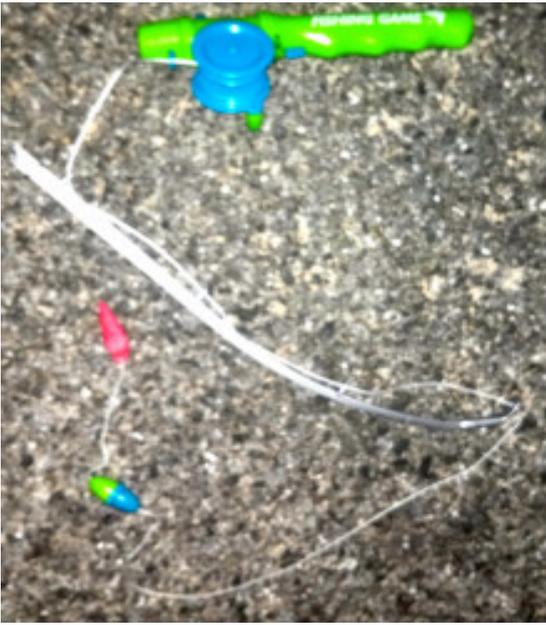
魚のスイッチを矢印の方向にスライドさせてONにします。

もう1度スライドさせるとOFFになります。

(ただし、口の中にマグネットが入った場合はOFFでも振るえます)

準備編

(8) 竿を組み立てましょう



画像のように竿と持ち手の部分をカチっというまではめ込むだけです。



竿と持ち手を外す場合は、画像の場所にあるボタンを押しながら、竿と持ち手の間を引っぱって、外します。



釣り糸をのばす場合は、画像のボタンを押して釣り糸を引っ張ります。

(9) さあ、ゲームの開始です



付属のタイマーに電池をいれて
1分に設定しましょう。
さあ、これでゲーム開始です。



さあ、1分間で何匹釣り上げられるでしょうか？
(ルールはお客様で変更されても構いません)



魚の口の中に磁石の釣リエサを
上手く入れて釣り上げよう！

(1) 魚をプールから上げて乾かします

※この作業は乾かすのに時間がかかるので片付けの約1時間前に行ってください。

絶対に電池を魚から取り出して下さい



魚の電源をきります。

魚のスイッチを矢印の方向にスライドさせて OFF にします。

もう1度スライドさせると ON になってしまいます。

(ただし口の中にマグネットが入った場合は OFF でも振えます)



画像のようにネジを開けてフタを外した状態で乾かして水気を切りましょう。

乾きが十分でないまま片付けてしまうと電池ボックスが腐食してしまいますので絶対にお止め下さい。



乾いて水気がなくなったらフタをネジ留めして、元々入っていた収納袋に片付けて下さい。



※万が一、乾かす時間が無い場合や水気が切れていない(乾いていない)状態の場合は、電池とフタも外した状態のまま、元々入っていた収納袋に魚とフタを入れて必ず収納袋のチャックをキッチリと閉めて下さい。(腐食や暴発の危険性があるので電池は絶対に一緒に入れないで下さい)

片付け編

KALZA

(2) 藻を取り出して収納袋に片付けましょう。



藻を使った場合は、藻をプールから取り出して収納袋に片付けましょう。

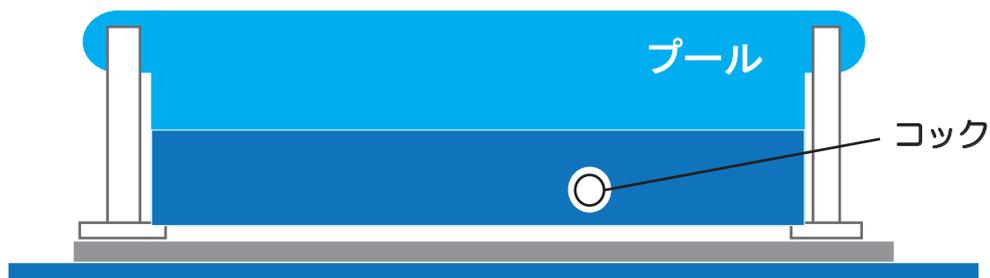
(3) 竿を分解して収納袋に片付けましょう。



竿と持ち手を外す場合は、画像の場所にあるボタンを押しながら竿と持ち手の間を引っぱって外し、収納袋に片付けましょう。

収納袋に片付けるのは、魚・竿・藻のみですので、これ以外は入れないで下さい。

(4) プールの水を排出します



プールの底にあるコックを回して開けます。

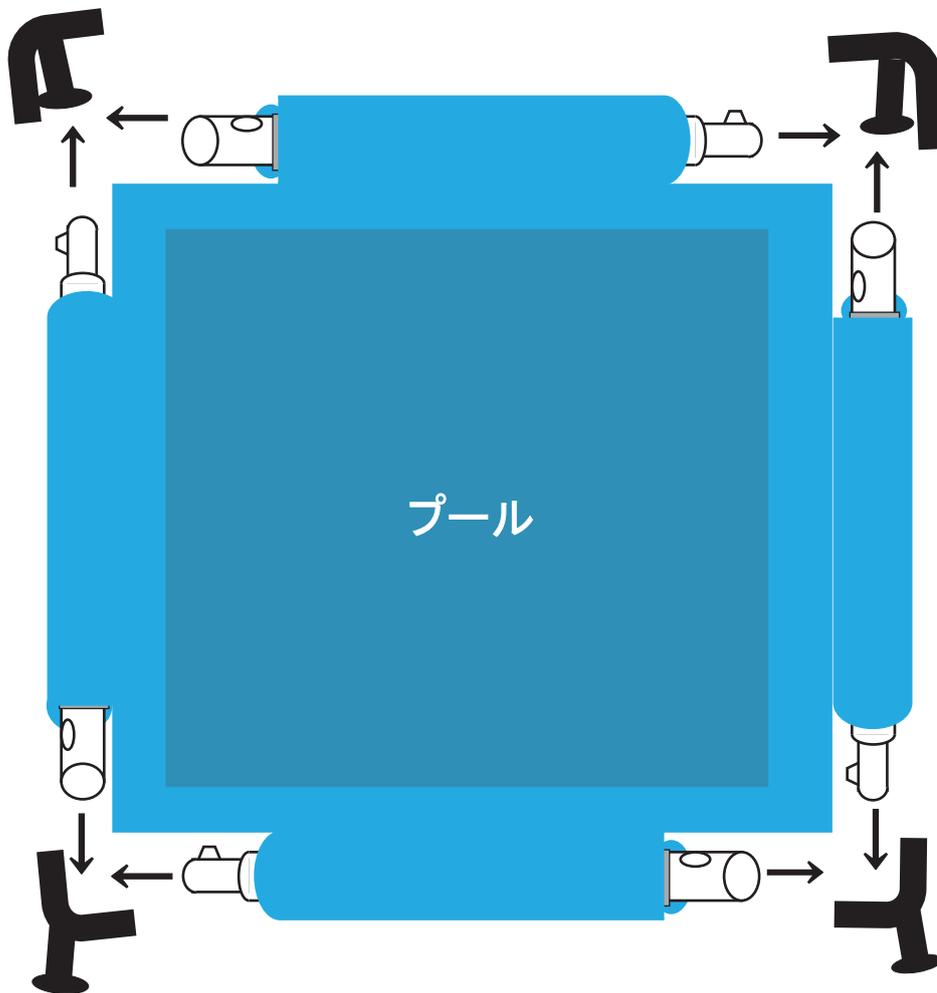
そこから水が放出されますので、水を出し切ってしまいましょう。

(5) タイマーの電池を抜いて、片付けましょう。



タイマーも電池を抜いて
片付けて下さいませ。

(6) プールの足をはずします。



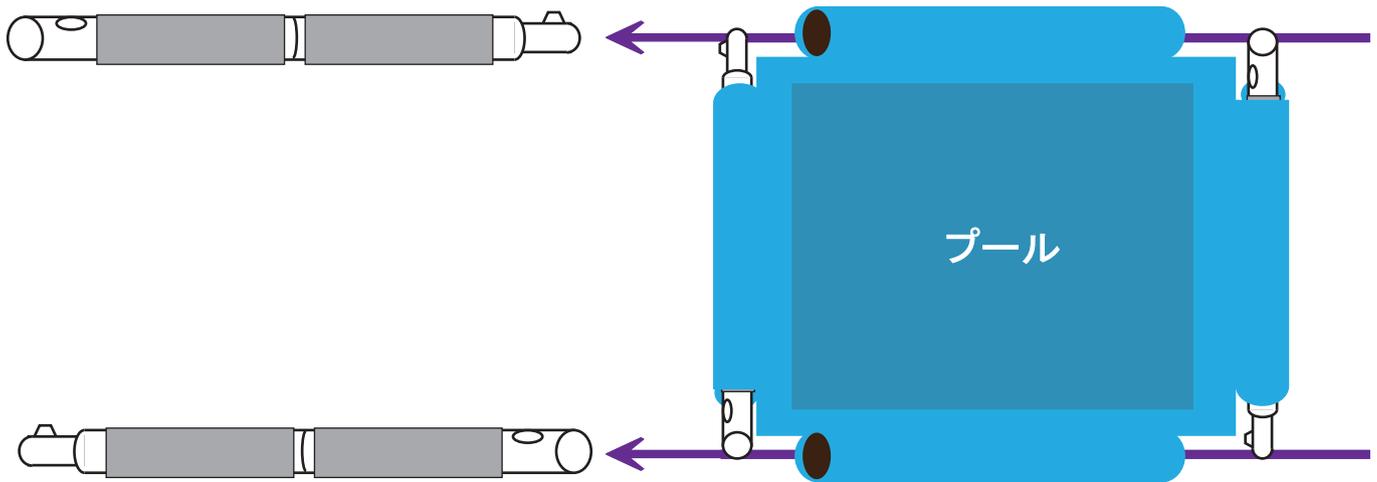
図のように枠の骨組みから4箇所の足はずします。

(足は4本あります)

突起を押しながら穴から外しましょう。

少し硬いので、力まかせに引き抜かず、ゆっくり少しずつ
引っ張るようにして下さい。

(7) プールから枠を引き抜きます

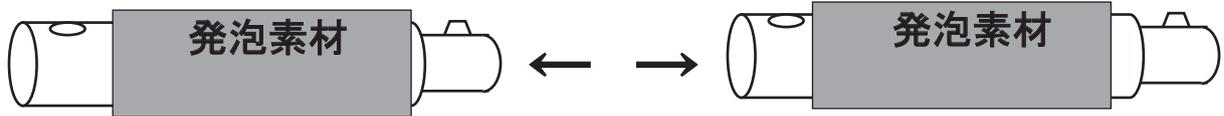


図のように枠の骨組みをプールのサイドから外します。

色の発泡素材はプールと枠の滑りを防ぐ為のもので必ず画像のような定位置にある状態にしてください。

(2本は始めからプールに通したままで良いので2本を外します)

(8) 枠の骨組みを分割します

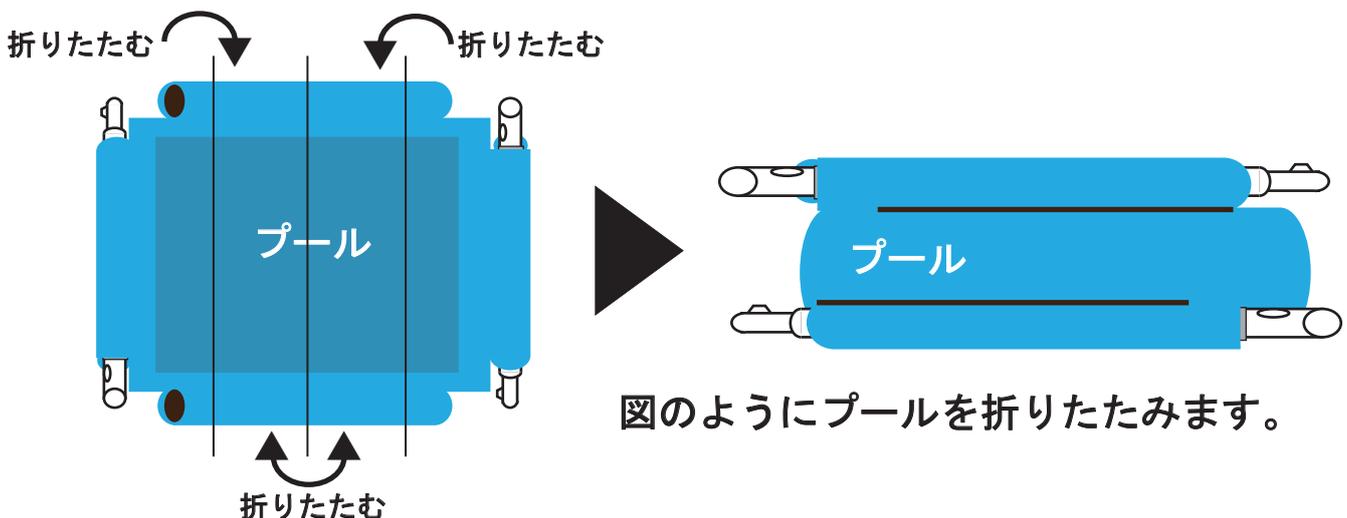


図のように枠の骨組みを分割します。

突起を押しながら穴から外しましょう。

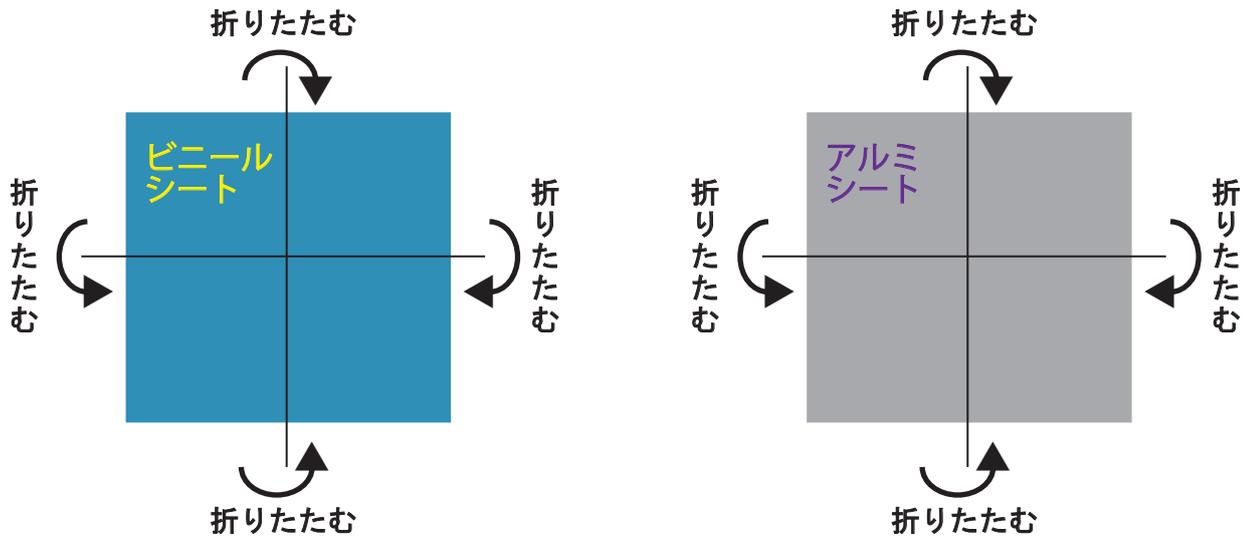
灰色の発泡素材はプールと枠の滑りを防ぐ為のもので必ず画像のような定位置にある状態にしてください。

(9) プールを折りたたみ片付けます。



図のようにプールを折りたたみます。

(10) アルミシートとビニールシートを折りたたみ、片付けます。



今回のご利用はいかがでしたでしょうか？
また機会ございましたら、ご活用下さいませ。



【レンタル付属品】

- ・魚×12匹（予備2匹含む）
- ・プール×1（組立が必要です）
- ・プラスドライバー×1本
- ・藻×4本
- ・竿×4セット（予備3本含む・要組立）
- ・アルミシート×1枚
- ・ビニールシート×1枚
- ・タイマー×2個（予備含む）